

◆小シンポジウムB「南北アメリカにおける移民コミュニティの生成」

国境を越える人の移動への関心はますます高まり、一国史的な枠組を相対化し、領域横断的な歴史を記述する方法が模索されている。当シンポジウムでは、南北アメリカの各地域において、移動する人々の生活世界を構成する移民コミュニティを取り上げる。移民コミュニティは、共同性を前提とした均質な存在ではなく、移動する人々の流動的な生活経験が交錯するなかで立ち現れると考えられる。そのような局面を、歴史研究としていかにとらえることができるのだろうか。シンポジウムでは、移民のコミュニティが様々な歴史的局面においてそのかたちを現す「生成」の諸相を、環大西洋世界におけるイタリア人移民、南カリフォルニア地域社会のなかの日本人移民、カリブ海地域における越境移民といった事例研究にもとづいて検討する。そして、人々の移動とその流動的な営みを描く歴史研究の可能性について議論したい。

(運営委員会 担当： 南川文里)